

令和6年度

川崎市立東高津小学校

# 学校説明会資料



令和6年5月2日（木）

# 学校説明会資料 目次

- 1、令和6年度 川崎市立東高津小学校 教育活動
- 2、各学年の目標
- 3、校内研究
- 4、キャリア在り方生き方教育
- 5、児童指導・児童支援教育
- 6、防災について
- 7、保健室より
- 8、給食室より



・教育関係法令  
・学習指導要領等  
・かわさき教育プラン

学校教育目標

考えよう やってみよう みんなの本気が明日への一歩

- ・自分も相手も大切にする子
- ・夢や希望をもって一生懸命に取り組む子
- ・自ら学び、自ら考え、互いに高め合う子
- ・自分らしく健康な子
- ・地域とつながり貢献する子

今年度の重点目標

A 多様な価値観を認め合い自分も相手も大切にしよう

B よりよい人間関係、社会参画、自己実現を目指そう

C 主体的、対話的で深い学びを実現しよう

D 誰もが自分らしく安心して心身を育む環境をつくろう

E 安全に地域と共に歩む学校づくりをしよう

重点にかかると具体的な取組

- ① 子ども一人一人の自己肯定感や有用感を高め、自信をもって生きていく姿勢や、互いの人権を尊重する心豊かな子どもを育てる。
- ② 「なりたい自分」を大切にし、人としての在り方生き方の軸を大切にしていくなことを通して、様々な問題を乗り越えられる生きる力を育てる。
- ③ 自分のめざす「ひがたかっ子」になるための目標設定や振り返り等を行い、「キャリア在り方生き方教育」の推進を図る。
- ④ 共生\*共育プログラムを推進し、互いに認め合い、助け合い、譲り合う心情と態度を育てる。

☆川崎市共生\*共育プログラム研究協力校

- ① よりよい生活を送るために、目標に向かって努力する子どもを育てる。
- ② 「自分が」や「自分たちが」と本気になれる対象を見付け、子どもたちが主体的に考えて行動に移せるように、一人ひとりの意見を聞いたり、伝えたりする場を設ける。
- ③ 挨拶やきまり、社会のマナー等の大切さを知り、進んで守ろうとする子どもを育てる。
- ④ 学校生活をより豊かなものにするために、学校や学年、学級といった集団全体を見て、自分ができることをしようとする子どもを育てる。  
(実行委員や係活動など)
- ⑤ 子どもの意見が反映されるように委員会活動やクラブ活動での話し合いを充実させ、連携し合ってより良い学校をつくる場の設定をする。
- ⑥ 子どもの心身を育む食育の推進、病気や怪我の予防等に関する健康教育を推進する。

- ① 学校教育目標の実現に向けて、校内研究を通して、協力して教材研究を行い、授業を公開することで互いに学び合い、授業力の向上を目指す。
- ② 研究を通して育てたい力を明確にし、育成を目指す。
- ③ 学年ごとに研究の視点となる「めざす子どもの姿」を明確にして取り組む。
- ④ 校内研究「国語科」を通して、「話す」「聞く」力を育てていく。

☆国語科研究推進校

- ① 子どもの声に耳を傾け、面談の時間を確保し、いじめ・不登校の早期未然防止に努め、チーム体制での対応を行う。
- ② 対人関係等で困り感があったり、個別に支援が必要だったりする子どもたちに対して個に応じた支援を充実させる。
- ③ 学年・学校全体で子どもたちにかかわることを意識し、全教職員による児童理解の上に立った児童指導・支援の体制を充実させる。
- ④ 保護者や地域の方が話しやすいように心がけ、全教職員で連携して、教育相談体制の充実を図る。
- ⑤ スクールカウンセラーと協力して、児童理解や教育相談を充実させていく。

- ① 授業参観や学校・学年行事等を公開し、学校ホームページ、学校・学年だより、懇談会等の充実を努め、積極的に情報の発信を行う。
- ② 安全な学校生活を送れるように保護者・地域と連携し危機管理意識を高めると共に、子ども自らが命を守る防災・防犯教育を推進する。
- ③ 情報機器等の危険を意識して利用する情報モラル教育を家庭・地域と連携して推進する。

〈1年〉

学年テーマ(合言葉)

「おひさま」

- ① おもいやり
- ② ひとりひとり
- ③ さいごまで
- ④ まなびあい

思いやりの心で友達を大切に  
仲良く過ごすことができる。

よく聞き、よく考え、最後まで  
あきらめず友達と学び合いをし、  
成長できる。

〈各学年から〉

【学校教育目標】

考えよう

やってみよう

みんなの本気が

明日への一歩

〈個別学習室〉

「元気な心」

成功や失敗にこだわらず、挑  
戦する気持ちを大切にしてい  
く。

【目指す姿】

- ・思いやりをもって、友達と  
のかかわりを楽しむ。
- ・最後まで話を聴き、思った  
ことを話すことができる。

〈2年〉

「にこにこ2年生」

自分はもちろん、友達・家  
族・地域の方も、関わりをも  
つ全ての方が幸せになるこ  
とを考えていく

やさしく 助け合い  
協力して がんばり  
楽しく過ごす2年生  
を目指していく

【めざす子どもの姿】

- ・自分も相手も大切にする子
- ・目標に向かって一生懸命に  
取り組む子
- ・自ら学び、自ら考え、互い  
に高め合う子
- ・心身共に健康な子
- ・地域のために貢献する子

〈6年〉

「縁」

学習や活動を通して  
学校・友達・地域など  
様々な縁を大切にしてい  
く

【大切にしておくこと】

あいさつ・思いやり  
言葉づかいと礼儀  
時間厳守・自主性

〈3年〉

学年テーマ

やった できた がんばった

「やった(意欲・積極性)」

「できた(達成感)」

「がんばった(自己肯定  
感・他者理解)」

を意識することで児童  
同士が互いに高め合え  
る関係を目指していく

〈4年〉

① さしくする

② からないことは教え合う

あおぞ

③ のように広い心で♪

④ らだも心も成長しよう

○よく考え、試し、高みを目指す  
四年生

- ・進んで運動や学習に取り組み、何事  
も好きになろう
- ・よく聞き、よく話し、めあてに向か  
って行動しよう
- ・自分の住んでいる地域とかかわり、  
見方を広げよう
- ・友達のことを考え、仲良く協力し合  
おう

〈5年〉

チャレンジ

～one stage up～

初めてのことや苦手なこと  
にも積極的にチャレンジし、  
失敗から学ぶことも大切  
にしていく。

【大切にしておくこと】

学校全体を考えて行動すること  
学び合う中で成長すること  
誰とでも活動できること

## 【校内研究】

「考えよう やってみよう みんなの本気が明日への一歩」を体現する子どもたちを目指して  
～自分事で考え つなげて 深めて 学び合う～

平成30年度に児童・保護者・教職員の声をもとに考え、令和元年度に一新した学校教育目標「考えよう やってみよう みんなの本気が明日への一歩」と研究テーマを兼ねることで、教師にも子どもにも目指す姿が明確になるようにしました。

昨年度はサブテーマを「自分事で考え つなげて 深めて 学び合う」とし、国語科の授業を中心に子どもたちに力を育むことを目指してきました。子どもたちが主体的に「自分の意見を考えたい！考えたことを伝えたい！友達の話を知りたい！」と感ずることができるよう授業づくりについて研究し、教師の授業力向上を図ることで、目指す子ども像に近づいていけるようにしていきたくと考え、実践を行いました。

今年度は、「聴く力」をさらに進化させ、自分の考えを友達の考えなどをつなげ、学び合いながら学習を深めていけるような授業づくりを目指し、教師間で情報交換をしっかりと行いながら、研究を進めていきたいと考えています。

## 【キャリア在り方生き方教育】

「キャリア教育」とは、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達（社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現すること）を促す教育です。本校では、キャリア在り方生き方教育の目標を設定し、各教科の学習、総合的な学習の時間や学校行事などの学校教育全体を通して必要な資質・能力の育成に取り組んでいます。「キャリア在り方生き方教育」を推進している川崎市では、「キャリアノート」の一部を「キャリアパスポート」に小学校1年生から高校3年生まで蓄積するようにし、自己を振り返り将来の生き方を考える一助として活用していきます。

## 【児童指導・児童支援教育】

☆東高津小学校のすべての児童が、  
学校生活を楽しく充実して過ごす  
ための取り組みをしていきます。

- ・支援教育コーディネーターは、校内の児童支援活動を進めています。児童の実態把握や保護者との連携、授業の観察を行い、それらの情報に基づいて、担任・学年・養護教諭・学校巡回カウンセラー・コーディネーター等を中心に、全職員でどのような支援ができるか話し合っています。
- ・いじめ防止基本方針を策定し、職員で研修して、いじめ防止や暴力行為の未然防止に努めています。

**【防災教育】** \*防災教育では、すべての教科活動を通じて防災対応能力を培っています。

＜防災教育 実際の取り組み一例＞

1. 月に1回程度の避難訓練を実施しています。火災時の出火元の変更や地震のみの訓練、洪水時の授業など様々な場合を想定して取り組んでいます。またそれに合わせて、休み時間等の災害時に子ども一人一人が安全に避難できるよう、避難経路を色別で指示できる環境を整備しており、実際にその避難経路を利用した訓練にも取り組んでいます。
2. 川崎市内に震度5強以上の地震が発生した場合や、その他大きな災害が発生した場合を想定し、保護者の方に協力をしてもらい「災害時引き取り訓練」を行っています。この訓練では、徒歩での来校や、実際の引き取り手順を行う等、実践的な訓練を行っています。
3. 年に数回、下校時刻に合わせて保護者の方にお迎えに来ていただく「お迎えパトロール」を実施しています。これは、気象状況が悪い中での登下校の際、どの場所に危険が潜んでいるかの確認を行っています。
4. 悪天候時等、子ども一人一人での下校に危険の可能性が伴う場合を想定し、「緊急時下校訓練」を実施しています。住んでいる地域によって色分けされたコースごとに教員が付き添い、子どもの安全を確認しながら一斉に下校をする訓練に取り組んでいます。
5. 校内に不審者が侵入した場合を想定した「不審者対応訓練」を実施しています。職員だけで行う訓練を事前に行うことで、正しい行動や知識を身に付けることができるように務めています。また、そこで身に付けた知識をもとに、児童にも正しい行動が取れるように訓練を行っています。

**【保健室から】**

●本年度の目標

自分のからだに関心を持ち、進んで健康を保とうとする子どもの育成

＜基本的な方針＞

1. 開放的で明るく、心身の休まる保健室にするように努めていきます。
2. いつでも子どもが自分の健康問題の解決のために活用できる健康センター的な保健室を目指しています。

○来室者への個別指導の充実

○保健教育の充実

病気、けがの予防に努める。

○家庭との連携

○組織的な対応

\*子ども一人一人の声を丁寧に聴くことに努め、からだだけでなく、心の健康も支援していきます。

**【給食室から】**

●本年度の目標

元気で大きくなるために、栄養バランスのよい食べ方ができる（自己管理能力）子どもの育成

1. 安心安全でおいしい「健康給食」をつくります。
  - ・給食が“生きた教材”となり、『楽しい給食』となるように、おいしい給食をつくる。
  - ・おいしく減塩をすすめていきます。
2. 「主体的・対話的な深い学び」になるように、健康給食を中心に、特別活動・生活科・家庭科・体育科（保健領域）で食育を実施していきます。
  - ・つながりのある食育のために、全校統一した給食指導を行います。
  - ・授業後には、授業の振り返りなどを通して、家庭と連携を図ります。
  - ・SDGsの目標（3・7・11・12・13・14・15）を達成するために、食品ロスを減らす取り組みをします。